



東洋療法県民公開講座シンポジウム

がん医療における東洋医学の現状と展望

現代がん医療の進歩と東洋医学の役割

金沢医科大学 医学部 腫瘍内科学講座

金沢医科大学病院 21世紀集学的医療センター

集学的がん治療センター

金沢医科大学 総合医学研究所 分子腫瘍学研究部門

元雄 良治 Yoshiharu Motoo, MD, FACP

本日の内容

- 現代がん医療の進歩：
薬物療法を中心に



- 東洋医学・漢方の役割



日本人の臓器別がん死亡数

国民衛生の動向 2009

男性

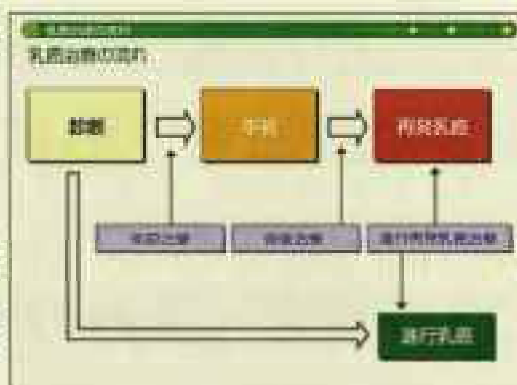
- ・全体 202,743人
- ・肺癌 47,685人
- ・胃癌 33,143人
- ・大腸癌 22,846人
- ・肝臓癌 22,300人
- ・膵癌 13,029人
- ・その他 63,740人

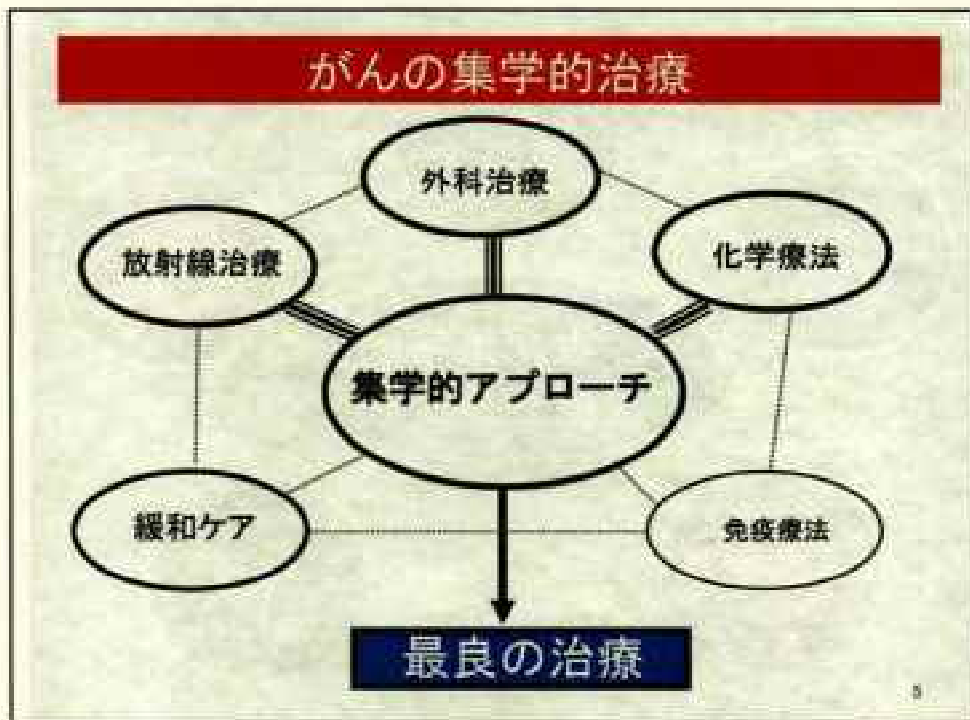
女性(64歳以下では乳癌が第1位)

- ・全体 133,725人
- ・大腸癌 19,013人
- ・肺癌 17,923人
- ・胃癌 17,454人
- ・膵癌 11,605人
- ・乳癌 11,323人
- ・肝臓癌 11,299人
- ・子宮癌 5,622人
- ・その他 39,486人

乳癌の集学的治療

- ・術前化学療法
- ・手術
- ・放射線療法
- ・術後化学療法
- ・分子標的治療
- ・ホルモン療法





カンサーボード

集学的がん治療カンファレンスのこと、各専門分野から自由に意見を出し合って、個々の患者に最適の治療方法を見出そうとする。











集学的がん治療の底辺に流れるもの

**良好なQOLの
維持をチーム
で支える！**

14

2007年12月発刊

じほう社の内容紹介より:

「全人的がん医療」とは、心身相関・諸臓器の連携・全身疾患としてがんを捉え、人間の尊厳などを考慮する医療です。本書は腫瘍内科医を中心とするチームで全人的医療をいかに提供すべきかを解説。「腫瘍内科の考え方」、「どのような連携を行なうのか」、「集学的がん治療の意義」、「抗がん剤の進歩」、「告知」、「緩和ケア」などに焦点をあて、なおかつ治療に必要なEBMやガイドラインの読み解きかたなども収録。「病変」ではなく「患者を診る医療」を提供するためのエッセンスをわかりやすくまとめた入門書となっています。

全人的がん医療

がんプロフェッショナルを目指して

元雄 良治 著

「病変」を診る医療から「患者」を診る医療へ
「がんプロフェッショナル」を志す
全医療従事者必読

金沢医科大学紀伊国際書店にて発売中

遠隔医療システムについて

金沢医科大学病院
と
公立穴水総合病院



金沢医科大学病院と公立穴水病院の連携の一例

遠隔診察室

- 患者さんの安心と利便性向上
- 専門医との連携による支援

➔ **がん化学療法のための通院回数減少**

金沢医科大学病院

公立穴水総合病院

能登北部医療圏診療所

17

通常の化学療法における通院回数(↑)

大腸癌化学療法レジメン **mFOLFOX6**

Day 1		Day 1-3 Infuser pump 46 hrs 持続注入
オキサリプラチン 85 mg/m ²	5-FU 短時間投与 400 mg/m ²	5-FU 持続投与 2400 mg/m ²
レボフルオロニド 200 mg/m ²		

1週目 (月) (火) (水) (木) (金) (土) (日)

通院 ↑ ↑ 注射

持続インフューズポンプを用いて点滴

2週目 (月) (火) (水) (木) (金) (土) (日)

3週目 (月) (火) (水) (木) (金) (土) (日)

↑ ↑ 注射

4週目 (月) (火) (水) (木) (金) (土) (日)

18

遠隔医療による通院回数の減少効果

大腸癌化学療法レジメン

mFOLFOX6



↑ 毎月4回の通院のうち、3回が患者さんの自宅に近い病院での治療が可能

他には肺癌のTJ-W&B療法
の3回の点滴のうち1回のみを
医科大で、残り2回を穴水で。



↑
月1回、会沢医科大学病院に通院し、全身状態チェック、各種画像検査などを行う。

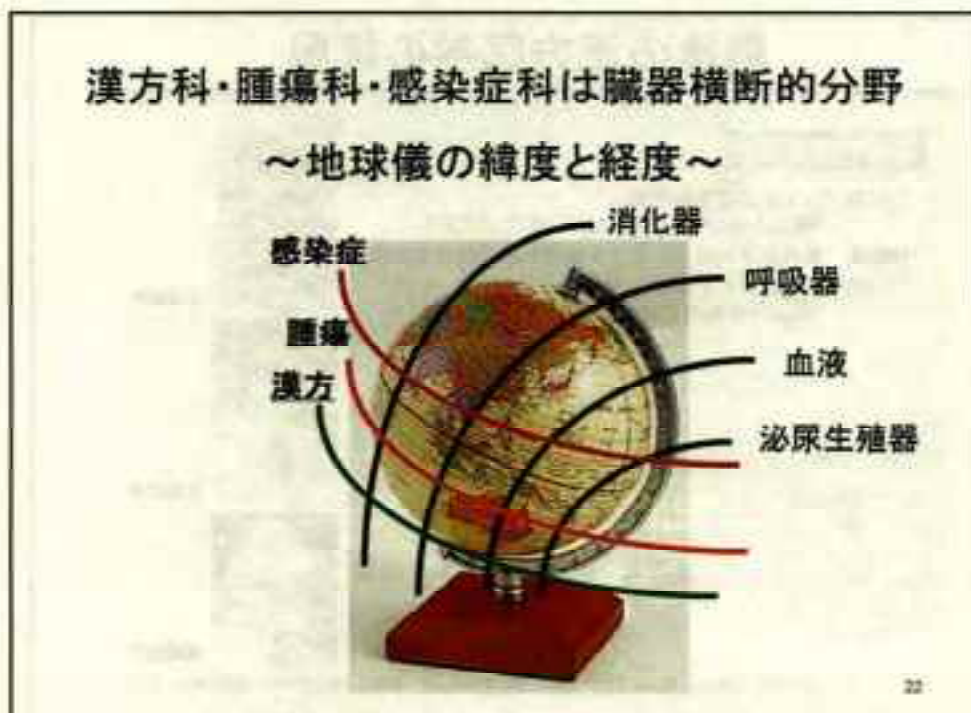


遠隔診療支援システムの利用方法

1. がん相談
事前予約制でがんに関する種々の相談を患者さんや家族から受ける。
2. 化学療法支援
化学療法専門医が不在の医療機関に対して、化学療法施行中の患者さんの血液検査や抗がん剤点滴の投与などを、テレビ会議システムを使って集学的がん治療センター医師が指導する。



がん化学療法遠隔医療システムの実例
(会沢医科大学病院集学的がん治療センターと公立穴水総合病院の医療連携)





戦後の漢方医学の復興

戦後の漢方復興

- 1950年 日本東洋医学会設立
(中心人物:大塚敬節、矢数道明、細野史郎)
- 1967年 漢方エキス製剤4処方4品目が薬価基準に収載
- 2002年 医学教育モデルコアカリキュラムに
「和漢薬を概説できる」という項目が導入



大塚敬節



矢数道明



細野史郎

昭和~平成

↓

漢方医学は今後ますます発展

資料提供: 医療法人 健栄館 細野史郎氏 (『漢方百周年—医療法人 健栄館 細野史郎氏の歩み—より))



漢方復活・東西医学の
融合をめざした
「皇漢医学」の著者
湯本求真は
石川県七尾市の生まれ

24

湯本求真先生とその著書「皇漢医学」



明治9年(1876)3月21日生、
昭和16年(1941)10月22日 没、(享年65歳)

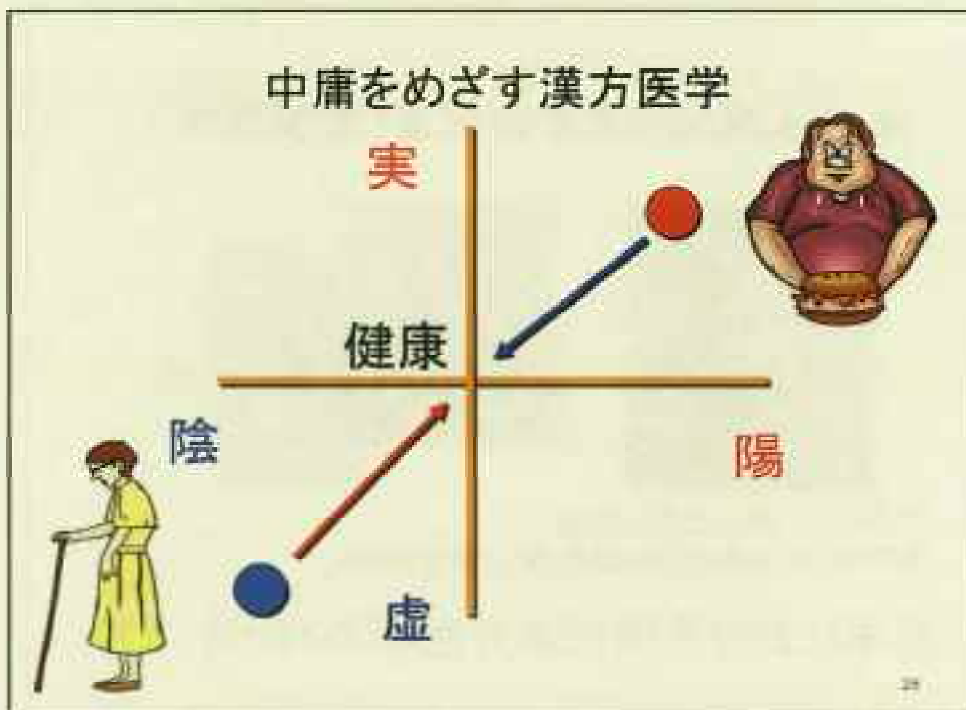
日本における現代漢方医学のパイオニア

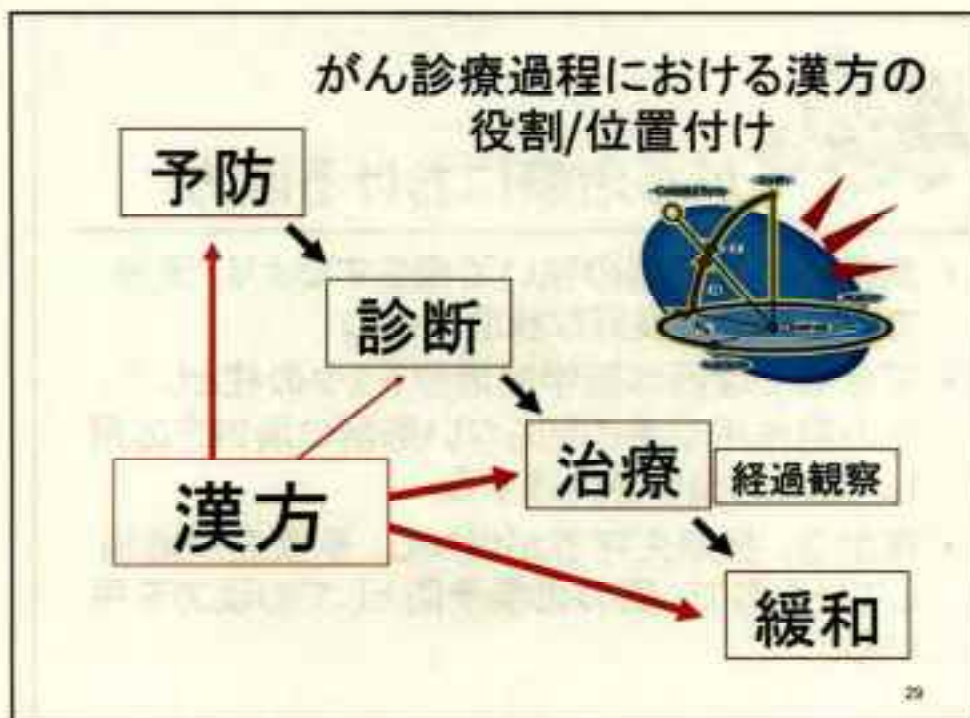
25

漢方医学の特徴

- 全人的医療・個別化医療
- 心身一如(いちによ)
- 生体防御能向上・恒常性保持
- 一剤で複数の薬効

攻めの西洋医学 vs. 守りの東洋医学





がんの臨床における漢方の役割

- 慢性疾患からの発がん予防・再発予防
- 体調の変化を察知し、診断への契機
- 化学療法・放射線療法の副作用軽減
- 外科手術後の合併症対策
- 腫瘍免疫能の賦活化
- 緩和ケアにおける症状緩和
- 心のケアへの応用



30

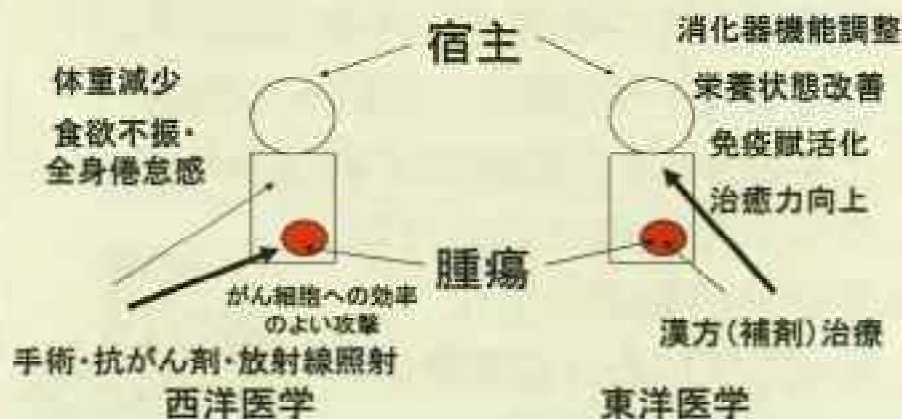


がん治療における漢方

- 高齢者では侵襲の強い治療をするより、漢方で全身状態を良好な状態に保つ。
- 若年者では西洋医学的治療を1つの柱として、その副作用や手の回らない愁訴に漢方を応用し、全人的医療を実践する。
- 高齢者、長期生存者が増加し、多重癌が増加しているので、癌の化学予防としての漢方を用いる。

21

がん治療における東西両医学の比較



しかし、西洋医学にも免疫賦活剤があり、
東洋医学でも抗がん生薬を使う

22

がん医療における漢方治療の問題点

- 漢方薬を服用しにくい患者がいる(とくに化学療法時)。
- 抗がん剤との併用の有効性に関する臨床的なエビデンスに乏しい(実験的データが中心)。
- 漢方に理解のない医療スタッフがいる:漢方が共通言語になるような漢方医学教育の必要性あり。



がん治療に用いられる漢方薬

- **抗腫瘍効果:**
補中益気湯, 小柴胡湯, 十全大補湯, 人参養栄湯
- **抗がん剤副作用防止:**
十全大補湯, 加味帰脾湯, 芍薬甘草湯,
半夏瀉心湯, 柴苓湯
- **放射線治療副作用防止:**
(リンパ浮腫に)桂枝茯苓丸, 柴苓湯
(骨髄抑制に)十全大補湯, 人参養栄湯
- **QOL改善・再発予防・転移予防:**十全大補湯
- **発癌予防:**小柴胡湯, 柴胡桂枝湯

24

抗がん生薬

- 半枝蓮(ハンシレン)
- 白花蛇舌草(ヒヤッカシヤセツソウ)
- 山豆根(サンスコン)
- 蒲公英(ホコウエイ)
- 夏枯草(カコソウ)
- 薏苡仁(ヨクイニン)
- 紫根(シコン)

一般の病院では用
いられない。

がん患者がきたしやすい病態と漢方治療

気虚	→	補気
気滞 (気鬱)	→	理気
血虚	→	補血
瘀血	→	駆瘀血
水滞 (水毒)	→	利水
腎虚	→	補腎

治療力の活性化・
生体防御能の強化

延命

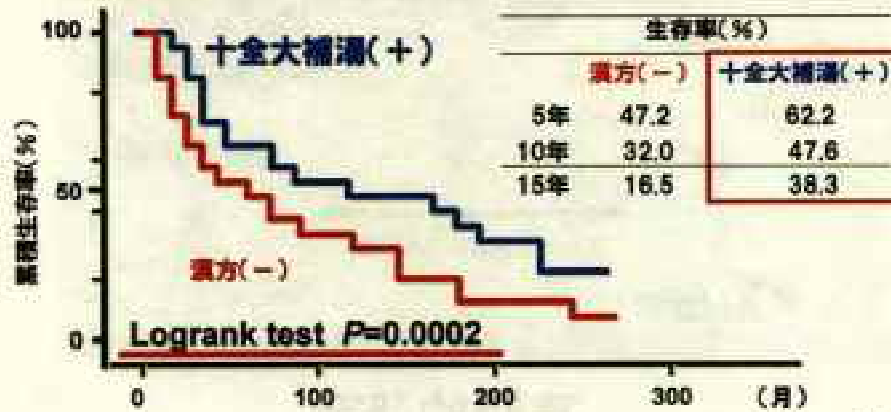
↑エビデンスが必要!

子宮頸癌の放射線治療と十全大補湯の効果

Takegawa, Y. et. : Biotherapy 20(1):61-69, 2006

対象:子宮頸癌の放射線治療/化学放射線治療を受けた患者

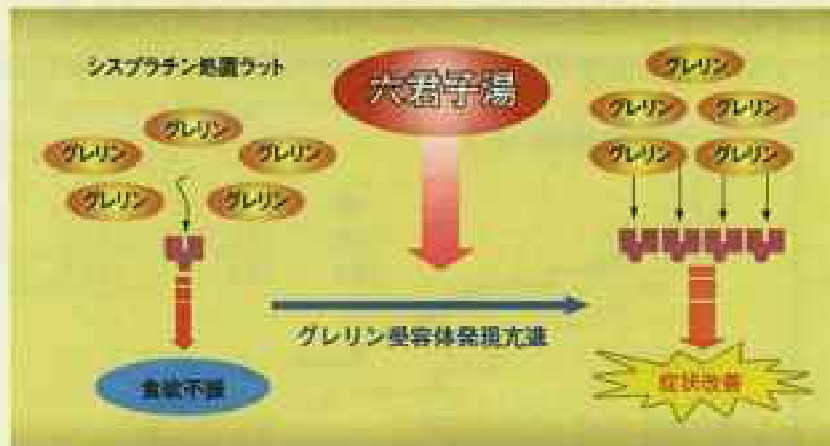
方法:十全大補湯併用群74例と漢方非投与群231例を比較検討



化学療法・放射線療法の副作用軽減に漢方



抗がん剤(シスプラチン)による 食欲不振に六君子湯(りっくんしとう)



実験的研究

塩酸イリノテカン(CPT-11)による下痢の 発生機序と半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)

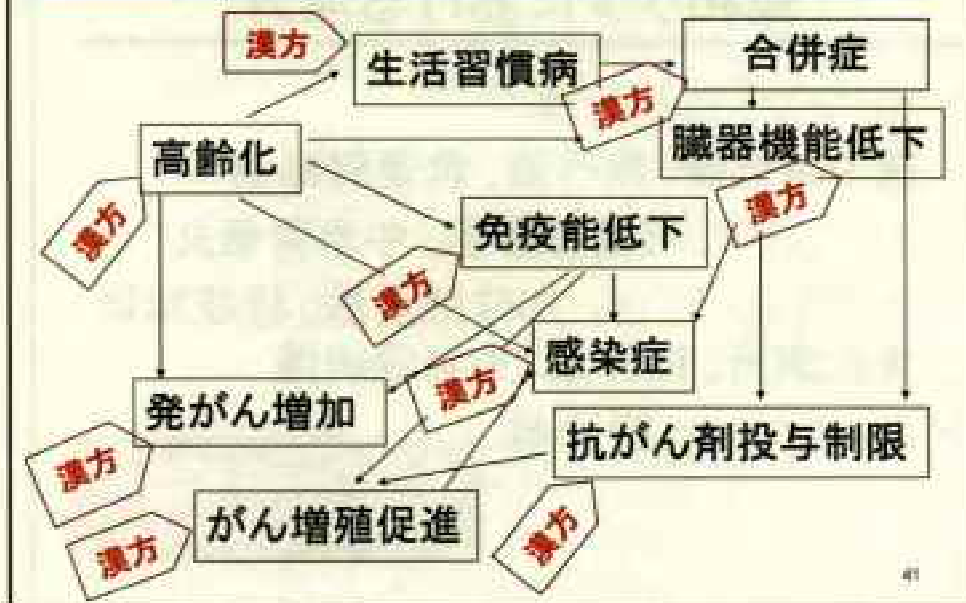


半夏瀉心湯中の黄芩に含まれるバイカリンがβ-グルクロニダーゼの作用をブロックし、SN-38グルクロン酸抱合体の脱抱合(再活性化)を阻害。

森 清志、他：消化器の臨床 3(1):91-93, 2000

予防的投与が有効

高齢者のがんの特徴と漢方の意義



標準治療を完遂する
ための漢方！

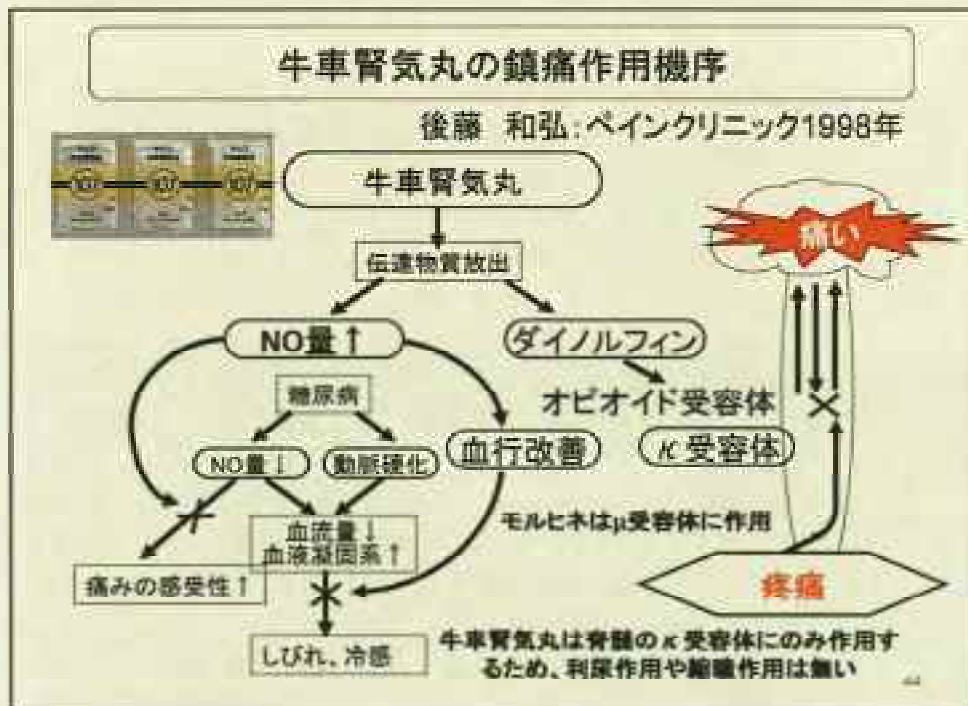


緩和ケアにおける漢方

- **帯状疱疹後神経痛:**
補中益気湯、柴苓湯、黄連解毒湯
- **こむら返り:**芍薬甘草湯、牛車腎気丸
- **うつ状態・うつ病:**加味逍遥散、桂枝加竜骨牡蠣湯、抑肝散、加味帰脾湯
- **がん性疼痛:**附子剤

種々の症状に豊富な処方群あり

43



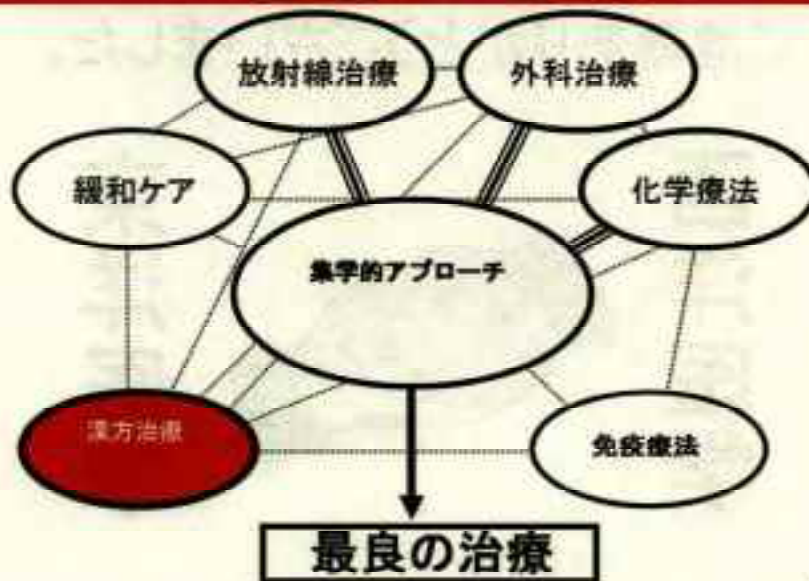
がん性疼痛ケアにおける漢方

- **モルヒネ製剤の効果増強:**
牛車腎気丸, 修治附子末
- **モルヒネの副作用軽減:**
便秘に大黄甘草湯,
麻子仁丸, 潤腸湯などの
大黄剤, あるいは大建中湯



45

集学的がん治療における漢方

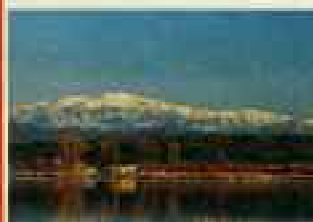


46

集学的がん治療と漢方

集学的がん医療に

1. 漢方医学の概念
 - ・心身一如
 - ・全人的医療
 - ・生体防御能の向上など
2. 実際の漢方薬投与



白山連峰

を体系的に取り込むことにより、個々の治療がよりよく実施され、**患者中心の医療**の推進につながることを期待される。

ご清聴ありがとうございました。

西洋医学



東洋医学